

福島第一原子力発電所

プロセス主建屋 1 階西側通路における水溜まりの発見について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 1 2 月 2 4 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 本日(12月24日) 午前8時9分頃、プロセス主建屋での漏えい警報発生を確認したことから、現場確認を行ったところ、午前9時8分にプロセス主建屋 1 階西側通路に水溜まりがあることを当社社員が確認しました。
- 確認された水溜まりは、約2m×約10mの範囲に水溜まりが点在している状況であり、また、系統からの漏えいは確認されておりません。水溜まりは建屋内に留まっており、午後3時22分に拭き取りが完了しています。
- なお、午前8時39分に運転中の第三セシウム吸着装置（以下、SARRY II）を念のため停止し、床面の拭き取り完了後の午後3時29分にSARRY II を起動し、午後3時34分にSARRY II 系統配管からの漏えい等異常がないことを確認しています。
- 溜まっていた水をスミア測定した結果、バックグラウンド同等であることを確認しており、引き続き、水溜まりの発生原因の調査を行ってまいります。スミア測定の結果400cpm（バックグラウンド：300cpm）。
- また、敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しています。



【プロセス主建屋1階建屋配置図】



【現場状況】